

## 市民自治の明石市政 第2ステージへ

### 泉市政を引継ぎ、丸谷聡子市政が本格的にスタート

4月の明石市長選挙で、明石市政は3期12年間続いた泉房穂市長が退任し、同市長から後継指名を受けた丸谷聡子氏が選挙で圧勝し、戦後10代目の市長に5月1日就任しました。今春は市議3期目をめざして選挙準備をしていたところ、丸谷氏は選挙直前の3月になって突然の“後継指名”に戸惑いながらも泉氏の強い要請と、丸谷氏のこれまでの手腕を買って後継を託されたことで、決断しました。

県議選、市議選と併せてトリプル選挙で“泉旋風”が吹き荒れる中で、自・公などの政党の支援を受けた候補などに圧勝しました。

明石市長に初めて女性が就任したほか、市議2期の経験はあるものの根っからの市民活動家であるとともに、市民自治あかしはじめ明石の数々の市民活動の主要メンバーであり、全国的にも野鳥の会をはじめ環境と環境教育の分野ではよく知られた活動家です。こうした根っからの市民活動出身の市長が明石で誕生したことは画期的なことです。

◇市長選	4/23 投・開票
	投票率 48.80 (前回 46.84)
○丸谷聡子	無所属 77,017
林 健太	無所属 36,944
中川暢三	無所属 4,995

### 「市民自治のまちづくり」を掲げる明石市の自治基本条例

#### 自治基本条例を「遵守する」と明言して就任した初の市長

明石市は2010年に施行した自治基本条例で「市民自治のまちづくり」を掲げ、市政運営の原則として「市民の市政への参画」「協働のまちづくり」「情報公開」を市政運営の原則とすることを定めています。自治基本条例施行直後の泉市長も「この条例を尊重する」としてきましたが、丸谷市長は市長選挙に先立ち開かれた3月末の公開討論会で「自治基本条例を遵守し、市民参画の市政を進めます」と明言した初の市長です。

5月1日に就任後、365日市民からの意見を直接受ける市長への手紙「まるちゃんポスト」を市内12カ所に設置したほか、「対話の市政」を進めるためのタウンミーティング「まるちゃんカフェ」を5月末から開始しました。

当面の重要課題である新庁舎建設計画についても6月末から「有識者会議」を立ち上げて「市民WS」や市民アンケートなど、切迫した計画策定日程の中で土壇場の意見反映策に踏み切っています。

#### 市長選公開討論会の全録画放映中

市民自治あかしのホームページから  
ご視聴ください

<https://a2305genjin.net/page-517>

#### トークサロン

### 草の根の市民自治を掘り起こそう！

市民自治あかし 第11回総会

7月30日(日)13:30~16:30

アスパア明石 8階 市民活動センター

市民自治あかしの総会は「トークサロン 草の根の市民自治を掘り起こそう！」と題して、明石のまちづくりと明石市政について1年間を振り返って今後の課題を話し合う場です。

どなたでも参加できます。お誘いあわせのうえ、こぞってご参加ください。

参加費は無料です。

## 新庁舎建設計画の進め方

# 基本設計の決定版はなぜ正式発表なしに公表??

2024年度着工へ向けて大詰めに入っている明石市の新庁舎建設計画は、今年3月末に基本設計が確定し実施設計段階に入っているとされていますが、3月7日の市議会総務常任委員会にはパブコメに付した「素案」を一部修正したことを報告し、3月末までに「基本設計を公表」し新年度は実施設計策定に向けた取り組みを進めると報告していました。

しかし、最終確定した「基本設計」は記者会見で市民に発表することもなく、記者室への資料提供も、市のHPの「お知らせ」欄にもなく、毎月2回発行されて全戸配布される「広報あかし」にも広報されませんでした。後日確認すると、市のHPの政策局企画調整室の新庁舎の取り組みのページを遡っていけば、3月24日付けで「基本設計が策定された」と最終決定資料がアップされていました。驚いたことに、今年1月に行われた市民説明会（延べ45人参加）で出された意見の概要を72項目に整理して「市の考え方」を記載した12ページにわたる資料がHPにアップされたのは3月27日でした。3月7日の上記市議会常任委員会にも報告されず「基本設計」の“こっそり公表”に併せて公表するという、市民参画や情報共有の手続きをないがしろにしたものでした。

### ★新庁舎計画の新たな意見反映の取り組み

- 6/29 有識者会議の発足（第1回会議）
- 7/1-15 市民アンケート公募
- 7/15 市民ワークショップ 14時～（第2回会議）
- 7/28 第3回会議（意見とりまとめ）

### ★今後の工事工程等スケジュール

- 2023年度末 実施設計完了
- 2024年度 施工者選定、準備工事を経て着工
- 2025年度 駐車場解体を終え本工事着工
- 2027年度 本工事24ヵ月で終え旧棟解体へ
- 2028年度 外構工事終え竣工

## 由緒ある「中崎緑地」 消防分署の移転計画でピンチ！！

新庁舎建て替え計画に関連して進められている中崎消防分署の移転新築先が、市役所北側の国道28号線を挟んだ「中崎緑地」（通称・中崎遊園地）の緑地を約2000㎡削り、4階建ての消防分署を建設することが分かりました。

中崎緑地は、歴史的には400年前の明石城下町を整備した際に、軍船用船溜まりに通じる掘割掘削時の土砂を中崎海岸との間に積み上げて造られたもので、明石港東から中崎公会堂辺りまでの明石中崎海岸の景勝ゾーンだった由緒ある松林です。戦前は海岸沿いに旅館や料亭が軒を連ねて、神戸や阪神間の事業家らの遊行の地として賑わっていた。

また、緑地の西端辺りには水族館もありました。

### 緑を守ろう！ 「出勤」にも不便な中崎緑地への移転

老朽化による建て替えが必要なら、広大な市役所跡地と周辺や西側の明石港の遊休地がふんだんにあるのだから、わざわざ「由緒ある緑地」をつぶさなくても移転地は幾らでもあります。国道に面した出入りしかできない中崎緑地よりも、幾つもの出勤ルートを選べる現在地周辺が消防署には適地であることは誰の目からも歴然です。



消防署の移転先とされる中崎緑地

